

「外環ノ 2」に対する 私の意見

平成 25 年 9 月 17 日

構成員：植田芳子

外環ノ 2 についての、私の意見を述べます。

外環のことが始まったのは、私の母がまだ元気だった 50 年近く前のことです。わたしたちの町会も、周りの町会と一緒に反対を掲げて頑張りました。自分たちが一生懸命作ってきた街や、地域や、暮らしを守るために頑張りました。私は仕事を持っていましたが、集会に参加し、抗議に出かけ、自宅の二階の壁に「外環反対」という看板まで付けました。自分たちの町を守るために、必死でした。

ようやく「凍結」ということになってホッとしました。

そして、都知事に就任した石原さんが、外環は地下にする。ちゃぶ台を土足でまたぐようなことはしない、と現地視察の時に話していたことを聞きました。地下になったからいいわけではありません。自分の家の下に道路が通る。しかも、地下水が沢山あるところですよ。そうなれば、地盤沈下や地下水が汚れることなんか心配です。でも、とりあえず住み続けられるという安心感がありました。

そうしたら、今度は、東京都が地上にも道路を作るっていうじゃありませんか。とんでもないことです。都知事が「地上に迷惑をかけない」と約束したんだから、国は立ち退き件数を減らすために地下にしたんだから、地上に道路なんてあるわけがないんです。いまでも計画があるというのは、廃止するべきなのを皆さんの先輩が忘れてしまったからでしょう。だから、あなた方の仕事は、外環ノ 2 を廃止することしかありません。

大体、国に 1000 兆円もの借金があって、前のオリンピックの時に作った道路や橋がボロボロになっているというのに、また新しい道路を作る余裕なんてないはずですよ。また大地震が来ると言われているんです。今度は東京の真下で起こるかもしれないんです。一刻も早く、直さなければいけない道路、橋の補修、維持管理にお金を使ってください。

杉並区の中で、地震や火事に弱いところは高円寺や阿佐ヶ谷のあたり。昔からの古い家屋が、狭いところに密集している地域であることは、皆さんよくご存

じでしょう。延焼遮断帯を作りたいなら、こういうところにこそ作ってあげてください。しかも、なるべく早く作ってあげてください。外環ノ2なんかより、よっぽど急がなければならないはずです。

わたしたちの税金を使うんだから、私たちが納得のいく使い方をしてほしい。外環ノ2は、私たちの町会の3分の2をこわし、めちゃくちゃにしています。そんなことが許されるのでしょうか。

小さい子の通学路や、お年寄りが図書館や「ゆうゆう館」や区民センターに通う道の障害になります。地域の人にとっては大迷惑。だから、外環ノ2はやめてください。

私個人にとっては、こんなにいい環境で住めるところは滅多にないと思っています。おじいさん、おばあさんの代から一生懸命作り上げてきた街です。春には桜並木から花吹雪が舞います。夏には若い人中心の盆踊りもあります。町内は、みんな仲がいいんです。

80歳にもなって、こういういい街から出ていくつもりは全くありません。私は、立ち退きません。死ぬまでここにいますから。外環ノ2はやめてください。

以上